

第107回東南アジア学会研究大会（亜細亜大学武蔵野キャンパス・対面を重視したハイフレックス）
2025年12月6日（土）

2025/11/24更新

	【A会場】511教室 (Zoom Room 1)	【B会場】526教室 (Zoom Room 2)	【C会場】523教室 (Zoom Room 3)	【ポスター会場】 5号館1階
(9-15)	開 室	開 室	開 室	開 室
9:30-9:40	開会の辞: 増原 綾子 (会場校・亜細亜大学)			OpenSEA ポスター発表
	【パネル1】Two Centuries of Agrarian, Economic, and Ecological Shifts in the North Coast of Java, 1812-2012 (1) Comal- Land Tenure, Rural Stratification, and Sugar Cane Industry	【自由研究発表第1セッション】司会: 生駒 美樹 (東京外国語大学)	【自由研究発表第2セッション】司会: 渡邊 暁子 (文教大学)	
9:45-10:20	代表: 水野 広祐	京都大学ノインドネシア大学		
10:25-11:00		在日ミャンマー人の民主化運動における非可視の実践と政治的エージェンシー	石川 航 立教大学 博士後期課程	
11:05-11:40		マンダレーのメイトイ人社会とヤンゴンのナガ系コミュニティ	村上 武則 中央大学 非常勤講師	植民地インドネシアのムスリムが観た第一次世界大戦後の世界: ムハマディヤ系定期刊行物Bintang Islam (1923-1930)を主な資料として 小林 寧子 東洋大学 客員研究員
11:40-12:50			民主化後フィリピンの社会運動における独立活動家: 大統領診断フレームによる大規模動員	瀬名波 栄志 京都大学 博士課程
	昼 食 休 憩			昼食休憩の時間帯には 発表者による説明あり
	【A会場】511教室 (Zoom Room 1)	【B会場】526教室 (Zoom Room 2)	【C会場】523教室 (Zoom Room 3)	
	【パネル2】Two Centuries of Agrarian, Economic, and Ecological Shifts in the North Coast of Java, 1812-2012 (2) Comal- Climate Change, Environment, Society and Economy	【自由研究発表第3セッション】司会: 福岡 まどか (大阪大学)	【自由研究発表第4セッション】司会: 菅原 由美 (大阪大学)	
12:50-13:25	代表: 水野 広祐	京都大学ノインドネシア大学	音楽産業社会への参画と国家的統一からの逸脱: 東北タイ芸能者の事例から	平田 晶子 愛知大学
13:30-14:05			現代シンガポールにおける高齢者演劇の広がりと: 高齢者福祉政策と文化芸術政策の転換の交点として	山崎 嘉那子 京都大学 博士課程
14:10-14:45			タイ国安南派仏教における死後世界への関与: 1950-60年代 景福寺住職パーオウン師の憑依儀礼を中心に	西田 昌之 東北学院大学
	【A会場】511教室 (Zoom Room 4)			根幹から枯れ枝へ: 東インドネシア、エンデにおける「生命の流れ」の考え方 中川 敬 大阪大学 名誉教授
14:50-15:00	受付:参加者ログイン後、名簿と照会のうえ、入室許可手続き			
15:00-16:00	会 員 総 会			
	【A会場】511教室 (Zoom Room 5)			
16:10-17:10	OpenSEA ライトニングトーク(LT) ① 片山 凜、井澤 祐 (大阪大学 学部生) 現代フィリピンにおける「ポスト・バヤニハン」の思想 ② 伊藤 雷華 (早稲田大学 修士課程) インドネシアの家事労働における仲介者及びその口伝えの意義: インドネシア中部ジャワ州スマラン市を事例に ③ 黒沢 舞衣 (早稲田大学 修士課程) 参加型開発事業終了後の参加者の動向: 東ティモールでの女性事業から考える、意図せざる多様な展開 ④ 松本 咲、豊田 侑生、金子 喜和、佐藤 賢人、田口 紗凪 (宮城県仙台二華高等学校) アンコールクラウ村でのバイオトイレの導入に向けて: 人糞堆肥循環型農業 ⑤ 伊原 来美 (東京外国語大学 学部生) コーヒー生産を通じた若者のコミュニティ開発への参画: フィリピン・コディリエラとインドネシア・パンドンの比較研究 ⑥ 車 旺樹、大熊 梨花 (愛知大学 学部生) 孤食は本当に問題か?: タイの若者の声から考える ⑦ 松井 深山 (広島大学 学部生) インドネシアのチャンディ・パノン出土ヒンドゥー教神像群について ⑧ 平山 菜葉 (広島大学 修士課程) 周縁化された宗教マイノリティにおける共同体想像過程の研究: フィリピン革新期イスラーム自治地域におけるムスリムを事例に ⑨ 内藤 実美 (東京外国語大学 学部生) アボ山における観光資源と地域開発の可能性: ガイド・ポーターの労働環境とアグロツーリズムを中心に ⑩ 渋谷 真由 (民間企業、津田塾大学卒業生) 東海 (南シナ海) 領有権問題と中越関係: ベトナム・ハノイ市の若者における問題認識とその形成			
17:20-18:50	第23回東南アジア史学会賞授賞式・受賞記念講演 土屋 喜生 「グローバルな地域研究というアボリアを生きる: Emplacing East Timorへの解題」 櫻田 智恵 「史料の「行間」を読む―君主の存在意義を地域研究から問う」			
	アジアプラザ(学生食堂)4階			
19:00-20:20	懇 親 会			

2025年12月7日（日）

	【A会場】511教室 (Zoom Room 1)	【B会場】526教室 (Zoom Room 2)	【C会場】523教室 (Zoom Room 3)	【ポスター会場】 5号館1階
(9-30)	開 室	開 室	開 室	開 室
	【パネル3】グローバル時代におけるハラル基準の標準化と多様性の動向	【パネル4】カンボジア・タイ領土紛争の政治		OenSEA ポスター発表
10:00-10:35	代表: 大形 里美	九州国際大学	代表: 玉田 芳史 放送大学	
10:40-11:15				
11:20-11:55				
11:55-13:00	昼 食 休 憩			昼食休憩の時間帯には 発表者による説明あり
	【A会場】 (Zoom Room 5)			
(12-45)	開 室 (一般公開)			
13:00-17:00	大会シンポジウム「東南アジアの国民国家を問い直す」(共催: 亜細亜大学アジア研究所市民講座「アジアウォッチャー」) 1. 趣旨説明: 増原 綾子 (亜細亜大学) 2. 片岡 樹 (京都大学)「東南アジア国家はどの程度東南アジア的なのか?」 3. 池田 一人 (大阪大学)「ビルマ・ナショナリズムノ国民国家論の再考」 4. 大泉 啓一郎 (亜細亜大学)「東南アジアの福祉国家と国民国家」 5. 討論: 左右田 直規 (東京外国語大学) 6. 討論: 佐々木 拓雄 (久留米大学)			
17:00-17:10	開会の辞: 小林 知 (東南アジア学会会長・京都大学)			

第107回東南アジア学会研究大会 OpenSEA

ポスター発表 一覧

1	鈴木 雅斗(元市川市議会議員) 戦時下に分裂したインディアン銀行、日本軍統治下マラヤと英領インドにおける2つのインディアン銀行と日本軍政下の銀行活動の証明にむけて
2	洲脇 聖哉(監査法人 米国公認会計士) 国際関係論の欧米史偏重を超えて: 東南アジア史の視点から
3	村田 友司(法政大学大学院 後期博士課程) 「福祉の複合体」による森林環境管理と農民のWell-beingの考察: インドネシア・スマトラ島フィールドワークから見る製紙会社の役割
4	渋谷 真由(民間企業、津田塾大学卒業生) 東海(南シナ海)領有権問題と中越関係: ベトナム・ハノイ市の若者における問題認識とその形成
5	車 旺樹、大熊 梨花(愛知大学 国際コミュニケーション学部 国際教養学科 学部生) 孤食は本当に問題か?: タイの若者の声から考える
6	木戸 美花、梶田 百花(愛知大学 国際コミュニケーション学部 国際教養学科 学部生) 信仰と環境保護: タイにおける仏教・アニミズム・伝統の交差点
7	木谷 公哉(京都大学 東南アジア地域研究研究所 助教) 東南アジア研究における学術誌の役割と活用状況
8	内藤 咲愛(横浜国際高等学校) マラヤ非常事態でのマラヤ独立のプロセスにおけるイギリスの影響と冷戦の様相
9	片山 凜、井澤 栞(大阪大学 外国語学部 フィリピン語専攻 学部生) 現代フィリピンにおける「ポスト・バヤニハン」の思想
10	松井 深山(広島大学 文学部 人文学科 学部生) インドネシアのチャンディ・バノン出土ヒンドゥー教神像群について
11	帯金 蒼人、小沢 志生、三輪 純正、古茂田 遥太、大澤 司(成城高等学校) カンボジア農村調査に於ける現地の農村の現状とその未来
12	岩木 祥哉、白井 りの、五十嵐 琴珀、荒引 心温、荻原 紗季(上田高等学校) カンボジア井戸プロジェクト:カンボジアに井戸を贈る
13	清水 英里(亜細亜大学、大東文化大学、東京外国語大学オープンアカデミー 非常勤講師) ベトナム語学習における「手書き」と「タイピング書字」の違いとその効果
14	黒沢 舞衣(早稲田大学大学院 修士課程) 参加型開発事業終了後の参加者の動向: 東ティモールでの女性事業から考える、意図せざる多様な展開
15	内田 陽向、嵯峨 悠月、丸山 美智、渡辺 絢葉(仙台二華高等学校) カンボジアの学校菜園の現状と課題
16	松本 咲、豊田 侑生、金子 喜和、佐藤 賢人、田口 紗凪(仙台二華高等学校) アンコールクラウ村でのバイオトイレの導入に向けて: 人糞堆肥で循環型農業
17	和久田 彩世(仙台二華高等学校) バイヨン中学校・高等学校の生徒の睡眠の質と学力の関係性
18	大庭フランシス 光瑠(広島大学大学院 博士課程) ポスト・トゥルース時代の社会運動における草の根親密圏とデジタル公共圏のあり方: 2025年インドネシアの全国規模なデモを事例に
19	内藤 愛美(東京外国語大学 国際社会学部 フィリピン語科 学部生) アボ山における観光資源と地域開発の可能性: ガイド・ポーターの労働環境とアグロツーリズムを中心に
20	伊原 来美(東京外国語大学 言語文化学部 フィリピン語専攻 学部生) コーヒー生産を通じた若者のコミュニティ開発への参画: フィリピン・コーディエラとインドネシア・バンドンの比較研究
21	伊藤 雷華(早稲田大学大学院 修士課程) インドネシアの家事労働における仲介者及びその口伝えの意義: インドネシア中部ジャワ州スマラン市を事例に
22	小林 磨理恵(アジア経済研究所 図書館司書) タイ国王の理想化と記念化: ラーマ9世葬式本の分析
23	山田 晃輔、相崎 開(成城高等学校) カンボジアのサッカーチームの経営改善へ向けたポスター発表

ライトニングトーク(LT) 発表者一覧

1	片山 凜、井澤 栞(大阪大学 外国語学部 フィリピン語専攻 学部生) 現代フィリピンにおける「ポスト・バヤニハン」の思想
2	伊藤 雷華(早稲田大学大学院 修士課程) インドネシアの家事労働における仲介者及びその口伝えの意義: インドネシア中部ジャワ州スマラン市を事例に
3	黒沢 舞衣(早稲田大学大学院 修士課程) 参加型開発事業終了後の参加者の動向: 東ティモールでの女性事業から考える、意図せざる多様な展開
4	松本 咲、豊田 侑生、金子 喜和、佐藤 賢斗、田口 紗凪(仙台二華高等学校) アンコールクラウ村でのバイオトイレの導入に向けて: 人糞堆肥で循環型農業
5	伊原 来美(東京外国語大学 言語文化学部 フィリピン語専攻 学部生) コーヒー生産を通じた若者のコミュニティ開発への参画: フィリピン・コーディエラとインドネシア・バンドンの比較研究
6	車 旺樹、大熊 梨花(愛知大学 国際コミュニケーション学部 国際教養学科 学部生) 孤食は本当に問題か?: タイの若者の声から考える
7	松井 深山(広島大学 文学部 人文学科 学部生) インドネシアのチャンディ・バノン出土ヒンドゥー教神像群について
8	平山 葉菜(広島大学大学院 修士課程) 周縁化された宗教マイノリティにおける共同体想像過程の研究: フィリピン草創期イスラーム自治地域におけるムスリムを事例に
9	内藤 愛美(東京外国語大学 国際社会学部 フィリピン語科 学部生) アボ山における観光資源と地域開発の可能性: ガイド・ポーターの労働環境とアグロツーリズムを中心に
10	渋谷 真由(民間企業、津田塾大学卒業生) 領有権問題と中越関係: ベトナム・ハノイ市の若者における問題認識とその形成